



明日香村制 70 周年 記念式典

令和8年8月11日(火・祝)
明日香村立中央公民館



明日香村

■ ごあいさつ

昭和31年7月3日、阪合村、高市村、飛鳥村の3村が合併し、現在の明日香村が誕生してから、本年、70年の節目の年を迎えることができました。これもひとえに村民の皆様をはじめ、多くの皆様のご理解とご協力の賜物であり、心より厚く御礼申し上げます。

明日香村は、今を去る1,400年前に現在も続く“日本の国”が生まれた場所でありますとともに、昭和55年には村全域を対象に「明日香村特別措置法」が施行され、厳しい法規制のもとで、「日本人のふるさと」と言われる街並み、農村景観、そして豊かな自然に恵まれてまいりました。一方で、少子高齢化が進む中で、この10年では、「道の駅 飛鳥」の開設や「飛鳥ナンバー」の導入、キトラ古墳壁画の国宝指定、新庁舎の開設など、村の新たな拠点と魅力が整った時期でありました。あわせて子育て支援の充実にも取り組み、若い世代の転入にもつながりつつあります。

近年、世界は新型コロナウイルス感染症の流行や、国際紛争の激化による物価高騰・円安など、厳しい社会経済情勢の変化に直面しております。そうした中でも村では、ベストツーリズムビレッジ(BTV)への認定や韓国・扶餘郡との姉妹都市交流など、明日香の魅力を発信する様々な挑戦が始まり、広がりを見せてきた時でもあり、本年7月26日には悲願であった「飛鳥・藤原の宮都」の世界文化遺産登録が実現し、村が未来に向けて歴史的な節目を迎えることとなりました。

村制施行70周年を機に、明日香ならではの歴史文化資源と農村景観を次の世代へと引き継ぎ、80周年に向けて村民の皆様とともに「夢ある明日香」づくりに邁進してまいりたいと思いますので、これからも一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

明日香村長 森川 裕一



■ 式次第

第一部

オープニング

八雲琴
明日香村伝承芸能保存会

国歌斉唱

黙祷

記念式典

村長式辞
村議会議長挨拶
来賓祝辞
祝電披露
名誉村民顕彰

第二部

世界遺産登録記念 トークショー

里中 満智子 氏
澤田 瞳子 氏
笑い飯 哲夫 氏

明日香村名誉村民顕彰

烏頭尾精氏の功績のあらまし

烏頭尾精氏は、昭和7年5月13日明日香村で誕生。京都市立美術大学卒業後、昭和31年より奈良県内の高等学校で美術教諭として20年間勤務。昭和51年に京都教育大学助教授、昭和57年に同教授、平成8年より同大学名誉教授。



日本画家として、明日香村の四季や動植物、文化遺産をモチーフに70年間にわたり描き続け、全国的に高く評価。「創画会」の重鎮として日本の美術界を牽引。

特筆すべきは、奈良県立橿原文化会館緞帳「まほろばの国原」、稲淵橋の「南淵請安先生講義図」「宮滝遊行女官図」、奈良県立畝傍高等学校文化創造館の緞帳「飛ぶ鳥」、稲渕竜福寺の仏画「釈迦三尊像」など数多くの作品制作に携わってきたこと。氏の画法は飛鳥の魅力を広く伝えている。

氏は卓越した教育者としても知られる。平成5年設置の「大化塾」初代塾長として10年間礎を築き、平成17年より犬養万葉記念館館長や文化協会会長を歴任するなど、本村の文化振興に大きく寄与。

昭和35年奈良県文化賞、平成11年京都市芸術功労賞及び地域文化功労者表彰、令和2年及び3年紺綬褒章、令和5年京都府文化賞特別功労賞など。

木下正史氏の功績のあらまし

木下正史氏は、昭和16年4月6日東京都で誕生。東京教育大学大学院修了後、昭和43年に奈良国立文化財研究所に入所、昭和53年より同研究所飛鳥・藤原宮跡発掘調査部調査室長として調査・研究に従事。平成2年東京学芸大学教授、現在は同大学名誉教授。



卓越した教育者としても知られる。日本文化財科学会会長、文化庁古墳壁画の保存活用に関する検討会委員、奈良県世界遺産「飛鳥・藤原」登録推進協議会専門委員会委員長など要職を歴任し、文化財行政の発展に貢献。

特筆すべきは、飛鳥・藤原地域の発掘調査を主導したこと。昭和49年調査の飛鳥水落遺跡では、『日本書紀』の記述に基づき日本最古の漏刻施設と位置付けるなど、古代宮都の構造解明に尽力。

本村への貢献も多大であり、牽牛子塚古墳等整備検討委員会委員長として終末期古墳の保護と整備を主導。「飛鳥・藤原の宮都」の世界文化遺産登録の取り組みを力強く牽引。このほか明日香村都市計画審議会会長や景観委員会委員、文化財顧問などを歴任し、本村の文化財保存と地域発展にご尽力。

奈良県文化財保護功労者表彰。

明日香村名誉村民顕彰

里中満智子氏の功績のあらまし



昭和23年1月24日大阪府大阪市で誕生。昭和39年16歳で第1回講談社新人漫画賞を受賞しプロデビュー。昭和49年講談社出版文化賞、平成25年古事記出版大賞太安万侶賞を受賞するなど、日本を代表する漫画家として活躍。

マンガ界の発展と後進の育成に貢献し、大阪芸術大学キャラクター造形学科学科長を務めるなど人材を育成。漫画の社会的地位の向上に貢献し、公益社団法人日本漫画家協会理事長を担うほか、アジアMANGAサミット運営本部代表やデジタルマンガ協会会長として海外普及やデジタル分野の開拓にも取り組む。

特筆すべきは、古代史や神話を題材にした物語を数多く紡ぎ、少女漫画の表現を歴史・古典分野にまで広げたこと。代表作「天上の虹」では、持統天皇を主人公に飛鳥時代の大化の改新から崩御までを描き、昭和58年から約32年間の連載を経て平成27年に完結。本村の歴史と魅力を全国に伝えていただいた。

公益財団法人古都飛鳥保存財団理事、文化庁古墳壁画の保存活用に関する検討会委員、国土交通省社会資本整備審議会歴史的風土部会臨時委員などを歴任し、本村の保存と創造的活用にご尽力。

平成18年文部科学大臣賞をはじめ、文化庁長官表彰、外務大臣表彰などの栄誉に輝き、令和5年文化功労者へ選出、令和8年旭日中綬章を受章。

辻範明氏の功績のあらまし



昭和27年12月10日誕生。昭和50年関西大学卒業後、株式会社長谷川工務店（現 株式会社長谷工コーポレーション）に入社し、平成26年代表取締役社長、令和2年代表取締役会長に就任するなど、日本のマンション建設業界を牽引。

本村との関わりは、平成27年に同社管理マンションで本村産農産物の販売を開始したことに始まる。平成29年に本村と「官民連携による包括協定」を締結し、力強い支援を推進。

特筆すべきは企業版ふるさと納税制度を活用した貢献。平成30年度から令和7年度で合計5億円の寄附を主導し、本村の財政に寄与。寄附金は「牽牛子塚古墳」「越塚御門古墳」の整備、景観保全、酒船石遺跡周辺の竹林整備に活用。令和2年「企業版ふるさと納税に係る大臣表彰」、令和5年「メセナアワード優秀賞」を受賞。

本村の地域振興にも貢献し、古民家等活用事業として宿泊施設「ブランシエラ ヴィラ明日香」「ブランシエラ 石舞台テラス」を開業したほか、飛鳥ハーフマラソンへの特別協賛や社員ボランティア派遣などで活性化にご尽力。平成30年「飛鳥朱雀大使」に就任。

令和5年春の叙勲において旭日中綬章を受章。

世界遺産登録記念トークショー

【ゲスト】

里中 満智子 氏

マンガ家。2026年、旭日中綬章を受章。

大阪芸術大学教授、日本漫画家協会理事長、古都飛鳥保存財団理事などを務める。

16歳で『ピアの肖像』により第1回講談社新人漫画賞を受賞し、プロデビュー。

歴史を扱った作品も多く、『天上の虹』は、副題に「持統天皇物語」とあるように、日本の第41代天皇で女帝である持統天皇を主人公とした作品。



澤田 瞳子 氏

歴史小説作家。

同志社大学文学部文化史学専攻卒業、同大学院博士課程前期修了。

専門は奈良時代仏教制度及び、正倉院文書の研究。

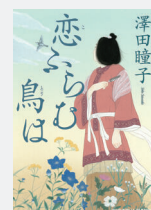
2010年『孤鷹の天』で小説家デビュー。

2021年に『星落ちて、なお』で、第165回直木賞を受賞。

『恋ふらむ鳥は』は、激動の飛鳥時代を生き抜いた万葉の歌人・額田王の半生を描いた作品。



撮影・富本真之



笑い飯・哲夫 氏

お笑い芸人。吉本興業所属。

西田幸治とお笑いコンビ「笑い飯」を結成し、2010年にM-1グランプリ優勝を果たす。

よしもと芸人随一の社寺・仏教マニア。テレビ番組では、明日香村の社寺などを独自のお笑い視点と鋭い仏教知識でたびたび案内。

著書に『ブッダも笑う仏教のはなし』など。



【コーディネーター】

辰巳 俊輔 氏

四天王寺大学文学部日本学科講師。明日香村出身・在住。

■ 明日香村のあゆみ

昭和			51年	6月	明日香村上水道通水式
31年	7月	旧3村(阪合村・高市村・飛鳥村)合併により「明日香村」誕生		8月	愛水典慶氏村長に就任
	8月	初代村長に脇本熊治郎氏就任	52年	3月	高松塚壁画館開館
39年	7月	明日香村役場庁舎完成	53年	5月	聖徳中学校舎落成式
41年	7月	古都保存法による「古都」に指定		5月	福田総理大臣視察
42年	6月	月刊広報紙「あすか」創刊		7月	明日香村広報無線開局
43年	8月	岸下利一氏村長に就任	54年	4月	阪合診療所竣工式
44年	2月	歴史的風土特別保存地区に指定(飛鳥京跡55ha/石舞台5ha)		12月	昭和天皇行幸
	4月	村章決まる	55年	5月	明日香村特別措置法公布施行
45年	3月	飛鳥古京を守る会設立		11月	明日香村特別措置法制定記念式典
	6月	佐藤総理大臣視察		12月	村全域を明日香歴史的風土特別保存地区に指定
	12月	「飛鳥地方における歴史的風土および文化財の保存等に関する方策について」閣議決定	56年	4月	明日香小学校開校
46年	4月	飛鳥保存財団設立	57年	4月	明日香民俗資料館竣工式
47年	3月	高松塚古墳極彩色壁画発見	58年	1月	上田喜照氏村長に就任
	11月	韓国扶餘郡と姉妹都市調印		11月	キトラ古墳「玄武」発見
48年	4月	高松塚古墳特別史跡に指定	59年	5月	杉平正治氏村長に就任
49年	3月	脇本熊治郎氏・松下幸之助氏に名誉村民顕彰		10月	中曽根総理大臣視察
	4月	高松塚古墳壁画国宝に指定	60年	10月	国営飛鳥歴史公園開園式
	8月	「明日香村史」発刊	61年	11月	名誉村民に犬養孝氏・末永雅雄氏・山本雨宝氏
50年	3月	中央公民館竣工式	平成		
	3月	飛鳥資料館開館	4年	4月	公共下水道通水式
51年	3月	聖徳中学校体育館竣工式		5月	関義清氏村長に就任
			6年	7月	飛鳥京観光協会発足
			8年	11月	明日香幼稚園落成式

9年	5月	明日香村健康福祉センター「たちばな」開館	25年	7月	明日香村総合型地域スポーツクラブ 楽スポあすかスタート
10年	6月	(財)明日香村地域振興公社設立		11月	明日香村近隣公園完成
11年	1月	飛鳥池工房遺跡より富本銭発見	26年	11月	天皇皇后両陛下下行幸啓
	4月	「あすか夢販売所」開設	27年	4月	日本遺産「日本国創成のとき～飛鳥を翔(かけ)た女性たち～」認定
12年	2月	酒船石遺跡より亀形石造物発見	28年	4月	天皇皇后両陛下下行幸啓
	4月	南都明日香ふれあいセンター「犬養万葉記念館」開館		9月	国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区開園
	11月	キトラ古墳特別史跡に指定	30年	9月	「道の駅 飛鳥」開設
13年	3月	キトラ古墳「朱雀」発見	令和		
	9月	奈良県立万葉文化館開館	4年	2月	旧大鳥家住宅及び離れが国登録有形文化財(建造物)に登録
14年	5月	天皇皇后両陛下下行幸啓		3月	牽牛子塚古墳の史跡整備が完了し一般公開開始
15年	3月	阪合診療所閉鎖、健康福祉センターで診療所開設	7年	1月	世界遺産「飛鳥・藤原の宮都」国内推薦決定
17年	4月	網干善教氏・西岡善信氏・野呂田芳成氏に名誉村民顕彰		9月	富本銭などの飛鳥池遺跡出土品が重要文化財に指定
18年	4月	「明日香の夢市」オープン		10月	ベストツーリズムビレッジに認定
	8月	「続 明日香村史」発刊		11月	奈良文化財研究所飛鳥資料館本館が国登録有形文化財(建造物)に登録
19年	1月	世界遺産暫定一覧表に記載	8年	6月	国際記念物遺跡会議による「飛鳥・藤原の宮都」勧告
	4月	高松塚古墳石室解体		7月	「飛鳥・藤原の宮都」世界遺産一覧表に記載
21年	12月	「あすか夢の楽市」開設			
23年	5月	明日香ニューツーリズム協議会発足			
	9月	「奥飛鳥の文化的景観」が国の重要文化的景観に選定			
	10月	森川裕一氏村長に就任			
25年	7月	「明日香夢の旬菜館」開設			

村民憲章

私たちの明日香村は、古代文化の香り豊かな村です。
明日香村民であることの誇りと自覚をもち、先人の歩みに学びながら、
より幸せな村づくりをめざす道しるべとして、ここに村民憲章を定めます。

- 一、私たちは、優れた歴史的風土をもつ郷土を大切にしましょう。
- 一、私たちは、貴重な歴史的、文化的遺産を重んじ、
新しい文化の創造につとめましょう。
- 一、私たちは、豊かな教養を身につけ、心温かい明るい村を
作りましょう。
- 一、私たちは、スポーツに親しみ、健全な心身を育てましょう。
- 一、私たちは、働く喜びをもち、希望のもてる村を作りましょう。

(昭和61年11月15日制定)



村章

全形は「飛ぶ鳥」の姿で、左横に倒せば「明」の字を表し、上の円は明日香村独特の古墳の象徴であり、下は阪合、高市、飛鳥の旧三ヶ村合併の団結と発展を表す。



たちばな
村花『橘』

橘はミカン科で古くから香り高き花として尊ばれてきた。第11代垂仁天皇のとき田道間守(たじまもり)が勅を求めに行き持ち帰った秘薬「トキジクノカグノコノミ」(常に青く香り高い実…橘)を今の橘寺あたりに植えられた。その橘は不老長寿で香り高く清廉潔白の花である。



つき
村木『榎』

榎は櫟(けやき)の一種で巨木として成長し古くから神木として崇められている。日本書紀には、「法興寺(飛鳥寺)の西の榎の下」で中大兄皇子と中臣鎌足との蹴鞠の会や、大化の改新後、天皇、皇太子らが群臣を集めて忠誠を誓わしめたのもこの榎の木の下(広場)であると記されている。